



NPO活動の一年間を振り返って

代表 小黑晴二

NPO法人「静岡東部ラグビーコミュニティ」を設立して、もうすぐ1年を迎えようとしております。1年目はNPO組織運営の研究などに苦勞し理想どおりの活動ができなかったと感じています。ただ、高校生と社会人の定期練習会やB級レフリーの養成、オーバー35チームの立上げなど今後につながる活動を実際に行ない2年目につながるかと確信しています。さて、4月からは新しい期として活動を開始します。今年はおわかし国体(10月)の年であり、おおいに盛り上げていきたいと考えています。

日本のスポーツは今まで企業と学校があまりにも中心になりすぎ、そこに所属できない人にとっては活動のチャンスがないものになっていました。これからは地域中心の大きな意味でのクラブ(コミュニティ)が必要で、誰でも参加できるオープンな雰囲気が理想です。プレーヤー、コーチ、レフリー、メディカルサポーター、スタッフ、応援など多くの人々が各役割の中で活躍できるようになれば更に活気ある活動ができるでしょう。年齢に関係なく参加できるスポーツコミュニティに成長していきたいものです。

また、NPO運営を円滑に進め、価値ある活動(事業)を推進するためはどうしても活動資金が必要になると感じています。会員の会費が主資金ですが、今年は事業規模を大きくするためにスポーツ振興くじ(toto)の助成金を申請しました。ラグビーの大会開催、指導者養成の研修会、スポーツ情報の提供などを予定しています。活動もいよいよ2年目に入りNPO法人としての実力も試される時期になっています。いい企画と積極的な行動力で社会貢献していきたいと考えています。皆さんよろしく願いいたします。

いよいよです、NEW!!わかふじ国体

井上 聡

平成15年度はNEW!!わかふじ国体(第58回国民体育大会)の年です。国体は昭和21年に京都を中心とした京阪神で第1回大会が開催され、平成14年のよさこい高知国体まで57回を数えます。昭和63年の第43回京都国体から2巡目に入り、平成15年の本県開催は昭和32年の第12回大会以来46年ぶりの開催となります。

ラグビーフットボール競技は成年の部が浜松市で、少年の部が裾野市で開催されます。NPO静岡東部ラグビーコミュニティでは少年の部の開催に向けての準備を全面的にバックアップしていきます。

リハーサル大会

日時:平成15年6月21日(土)・22日(日)

会場:裾野市運動公園陸上競技場

本大会

日時:平成15年10月26日(日)・27日(月)・29日(水)・30日(木)

会場:裾野市運動公園陸上競技場・時之栖スポーツセンター裾野グラウンド

万全の体制で全国からの競技者を迎えられるようみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

NEW!!わかふじ国体会場アナウンスにあたって

中村ミキ

今年、10月に行われるわかふじ国体で会場アナウンスという大役を頂きました。昨年、11月の全国高校ラグビー大会 静岡県大会決勝よりトレーニングも開始され本番にむけて着々と準備が整ってきました。

初め、このお話しを頂いたときそんなに難しいことではないし、特別準備をするわけでもなく、ただ試合会場で耳にしていたように読み上げ誰でも出来ると思っていました。しかし、11月の静岡県大会決勝で大変さを実感しました。話し出すタイミング、スピードがバラバラで試合にかぶってしまったら、とっさの判断ができなかったりと自分が試合会場で聞いていたアナウンスのようにはいかず散々でした。私が観客であつたら、きっとただの雑音にしか聞こえてなかったでしょう。この時、思ったことは自分が実際に試合会場で何気なく耳にしていたアナウンスには、観客が聞き取りやすい間や話すスピード、声のトーンがあり、それによって観客の耳に自然と入ってくるものだと思います。私にはまだ、そんな高等な技術はありませんが、NEW!!わかふじ国体本番に向けて観客の皆さんに聞き入ってもらえるようなアナウンスが出来るようになりたいと思います。

アナウンスと同時に、現在私はレフリーとしても修行を始めました。まだ全然形にはなっていませんが、今年中にC級が取れるようにしたいと思っています。レフリーを始めようとしたきっかけは2つあります。1つ目は、レフリーがいることによって自チーム(東芝機械)での練習のバリエーションが増え、少しでも今までより良い練習出来ればということ。2つ目は、今回のアナウンスに生かすことです。試合中のペナルティーなど、レフリーのシグナルから読みとり、観客の皆さんに素早くアナウンスできるようにしたいです。

まだまだ、10月までにいろいろなことを学び、いろいろなことにもチャレンジしたいと思っています。残された時間を有意義に過ごすことが出来るようにしたいと思っています。NEW!!わかふじ国体当日は、是非試合だけでなくアナウンスにも注目しながら観戦して頂けたら幸いです。

NPO設立1周年記念:大八木淳史講演会

日時:平成15年4月12日(土) 18:15

会場:沼津市民文化センター小ホール

テーマ:「夢を活かす」

★入場無料(定員500名)

★入場整理券をお求めください

TEL/FAX 055-952-3075

oguro-seiji@pop02.odn.ne.jp

までお問い合わせください

三年間を振り返って

桐陽高校 倉田直弥

僕は、高校に入って初めてラグビーをやりました。一年生の時は何度も部活をやめようと思ったことがありましたが、毎日練習をやっているうちに、ラグビーの楽しさがだんだん解っていき、三年生になった今はラグビーがとても楽しくなりました。また、ラグビーの楽しさだけではなく、挨拶や礼儀なども身につけることができ、大きく成長することができたと思います。そして、これからもラグビーを続けていき、もっと自分を磨いていきたいと思っています。

新キャプテンからのメッセージ

桐陽高校 渡邊昌浩

三年生が卒業して、自分達の責任においてチームを引っ張っていくことになりました。今年目標にしたいことが二つあります。まず一つ目は、部員が不足しているため、部員を確保することです。今現在、桐陽高校、沼津学園合同チームは13名で活躍しています。「公式戦は正式に15名で登録したい!!」これが僕の夢です。そのためには、ラグビーの厳しさの中にある楽しさをたくさんの方々知ってもらう必要があります。今、ホームページを御覧の皆様、僕達のラグビーを見に来てください。きっと興味を持ってくださると思います。今年目標二つ目は、公式戦で一勝することです。そのためには、今まで以上に、コミュニケーションを深め、厳しい練習を続けていかなければなりません。芯の通った練習を積み重ね、レベルアップにつなげたいと思っています。僕達と一緒にラグビーを楽しみましょう!!

高校新人戦

【予選リーグAブロック】 上位2チームが決勝トーナメントに進出

Table with 9 columns: Team, 東海大翔洋, 浜松湖南, 沼津工, 聖光学院, 静岡, 勝, 負, 順位. Rows include 東海大翔洋, 浜松湖南, 沼津工, 聖光学院, 静岡.

【予選リーグBブロック】 上位2チームが決勝トーナメントに進出

Table with 9 columns: Team, 浜松工, 清水南, 常葉橘, 静岡工, 焼津水産, 静東・桐陽沼津学園, 勝, 負, 順位. Rows include 浜松工, 清水南, 常葉橘, 静岡工, 焼津水産, 静東・桐陽沼津学園.

【決勝トーナメント】

2/16(草薙) 東海大翔洋 50-0 常葉橘 聖光学院 11-5 浜松工

2/23(草薙) 東海大翔洋 61-0 聖光学院 決勝 浜松工 43-7 常葉橘 3位決定戦 沼津工 19-12 静岡工 5位決定戦

## 「スポーツ後進国」

沼津工業高校ラグビー部顧問 村上 勇

イングランド北東部にある小都市、ダラム。町の真ん中には映画「ハリーポッター」の撮影の舞台にもなった世界遺産である大聖堂がそびえ立ち、その周辺に緑豊かな町並みが広がっています。都市と呼ぶにはあまりにも規模が小さく、街のメインストリートは3分も歩けば終わってしまうほどです。各家庭にある電化製品も、道路を走る車も、公共施設の設備も、街ゆく人が使っている携帯も、日本のそれにくらべるとどこか「どんくさい」印象をうけてしまいます。イギリスという国は「産業革命」を成し遂げた国であり、現在我々の暮らしている世界のフレームを作った国です。いわば「先進国第一号」の国なのですが、その国とくらべても、今や日本のほうがはるかに「先進」であるように感じます。ただその国には、あきらかに現在の日本にはないものがひとつありました。それが「スポーツ」です。

その町では、夏には、朝早くから町を横切る川をおじいちゃんおばあちゃんのカップルがボートを漕いで汗を流していたり、大学のボート部が川沿いを自転車で走るコーチの指示を聞きながらトレーニングをしていたりします。日中には小学校やハイスクールの生徒たちが一面に広がる芝生の中でサッカーボールを追いかけたり、授業のない学生がテニスを楽しんでいたりします。夕方になると仕事が終わったおじさんたちが川辺をランニングしたり、犬を連れて夫婦がウォーキングしてたりします。冬にはやっぱりラグビーですね。町のクラブチームには芝のグラウンドが二面半あって、メイングラウンドの横にはクラブハウスがあり、その中のグラウンドを見渡せるバーでは、おじさん達がおいしそうにビールを飲んでいました。バーの壁にはここを出てイングランド代表、スコットランド代表になったかつての名プレーヤー達の写真や、国代表のジャージ、そのプレーヤーがテストマッチで持ち帰った他国の代表ジャージが並んでいます。きっと町の英雄なのでしょう。週末にはそのグラウンドに様々な人が集まって、近隣の町のクラブチームとゲームをします。AチームからD・Eチームまで、みんなそれぞれのレベルでゲームを楽しみます。そのなかには練習で一度も顔を見たことのないような中年のおじさんもたくさんいますが、みんなゲームでは真剣そのものです。きっと「よりおいしいビール」を飲むためなのでしょう……。負けたほうのチームは、クラブハウスで一杯やった後「来年はきっと俺たちが勝つぞ!」という捨てぜりふを残して陽気に去っていきます。週末にラグビーのシックスネーションズやサッカーのテストマッチといったビッグゲームがある日には、午前中にそれぞれ自分のスポーツを遊び終えた人々が、テニス、ホッケー、サイクリング、スカッシュ、バドミントン、ラグビー、サッカーなど様々なコスチュームの着たままで街のパブに集います。みんなビールを片手に画面に映し出されるプレーを見ては一喜一憂し、大歓声を上げています。どの顔も屈託のない笑顔が浮かべ、楽しそうです。この人たちは本当に「スポーツ」が好きなのだろうな、という印象を強く受けました。

そこに垣間見られるものは、「自分の人生を自分でエンターテインしよう」という「意志」のようなものです。そしてそれこそが「スポーツ」の根源なのだということ強く思い知らされました。彼ら、彼女らは、たとえば自分が楽しい人生を送っていない場合、それを「社会」や「時代」や「不景気」や「政治」のせいにしてはいないか、という気がしました。自分の好きな選択肢を選べる世界でも有数の豊かな国に住んでいながら、楽しめないとしたらそれはもう自分のせいだ、自分がエンターテインできないからだ、と思っているのではないのでしょうか（無意識にかも知れませんが……）。よって、みんな、自分の生活をより豊かで、より楽しめるものにするために体を動かしてスポーツを楽しむんだ、という発想で自分の競技に取り組んでいるように見えました。

彼らの「スポーツ」にも「ワン・フォア・オール! オール・フォア・ワン」の精神が確かにあるのですが、それは日本式のものとは全く別のものでした。我々が日本で「ワン・フォア……」という言葉を使うときは、それがチームの利益のために自分を犠牲にすることを奨励する「自己犠牲のススメ」であるかのように使いますが、彼らにとっての「ワン・フォア……」はそうではありません。彼らは、自分（ワン）が楽しむことが全体（オール）の幸福を促進することであり、その全体（オール）の幸福がまたループして自分（ワン）を豊かにしてくれるのだ、と考えているように私には見えました。よって、お年寄りたちも「もっと老人に優しい社会の実現を!」などということ訴えるのではなく、自分で楽しんでやろうという意志を持って、地を駆け、ボールを追い、オールを漕いでいるかのようでした。そういった精神（スポーツマン・シップ）って、実はまだ我々にはずいぶんと欠けているのではないのでしょうか。日本ではまだ、ある集団に所属し、その所属集団の利益に貢献することこそが「スポーツ」であるという考え方が支配的であるような気がしています。ラグビーひとつ取ってみても、高校、大学、社会人というなんらかの組織に所属していない限り、なかなか活躍の場は得られません。この国では、「自分（ワン）」を主体とした「スポーツ」は、まだまだ発展途上なのだと思います。

こういった理由から、私は今この「静岡県東部ラグビー・コミュニティ」というNPO活動にとっても大きな関心を抱いています。それは、もともと沼津にあった「東芝機械」という社会人のラグビーチームがNPO登録して、静岡県東部地区のラグビー振興団としてこの地域にラグビーを通じた人のつながりを作ろうという活動です。毎週水曜日の夜に、地域の中学校の校庭を借りて練習しているのですが、私も昨年の9月以降、自分の高校の練習が終わった後にそちらにお邪魔しています。私も、沼津工業高校にやってきてラグビーのコーチングを始めてもう8年になるので、その間に沼工ラグビー部を卒業した者の数も結構な数になっています。今、そういった人々に声をかけて、このNPO活動に参加してもらおうとしています。そういった彼等が今後、ラグビーをやったことのない自分の友達を誘ったり、自分の

彼女にいいところを見せようと思って連れてきたり、そのうち何人かの女の子は自分もプレーしたいと思ったり（実際に今、沼工の卒業生の女の子でラグビーのレフリーの勉強をしている子も一人います）、将来的には彼等もまたこの地域で自分の子供を作り、その子供達と一緒にやってきたりして、その子たちがまた大きくなって……という循環が作れたら面白いだろうな、と思っています。

また、現在静岡東部でALT（外国人講師）をやっている人の中にも、ニュージーランドやイングランド出身でラグビーをやっていた人が何人かいるので、飲み会で会ったときなどに誘ったりしています。そうやって、経験者も未経験者も、日本人も外国人も、男も女も、大人も子供も、みんなその場で自分にとっての楽しい時間を作り出すためにアクションできたら、それはきっと愉快的ことだろうと思います。そこが「人が自分の意志で真剣に遊べる場」となることができれば素晴らしいと思っています。そういう「場（スポーツ）」が日本にはまだ本当に欠けている気がしているので……。

今年、沼工の三年生で秋までキャプテンをやっていた松林君も、二回戦で負けてしまった翌週にはもうそのチームに参加し始め、今では現役の高校生ながら立派に大人たちに混ざって週末のラグビーのゲームに出場しています。チームのメンバーから非常にかわいがられてVIP待遇だそうです。大人たちが「最近の高校生は……」など見下して苦言をいうばかりではなく、そうやって同じ舞台で共に遊べる場が増えてくれば、何かが変わっていくような気が私はしています。なんとなくですが……。

まだこのNPO活動は「駆け出し」なのですが、なぜかここにとっても心地のよい「可能性」を感じています。おかげさ言えば、「日本を覆う閉塞感」も「少年犯罪」も「不景気」も「モラルの低下」も「元気がない社会」も、実はもうそういうところからしか突破口がないのではないかと気がしています。

この国に住む多くの「自分（ワン）」が、自分の人生をより豊かにしようと主体的に動き始める時：子供が、大人が、お年寄りが、自分の好きなスポーツや学問や文化活動に取り組むことによって自分の人生をより楽しめるものにしようと試みる時、この「国（オール）」に新しい活力が生まれるのではないかと考えています。

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE…

2003年2月

## 高校3年間で振り返って

沼津工業高校 松林優哉

沼工での3年間の思い出は？と聞かれると僕はラグビーしか答えられません。3年前沼工に入学してから今まで、高校3年間ラグビーだけやってきた気がします。ラグビーのことを何も知らず入ったラグビー部でしたが、今思うとこのラグビー部に入るという選択はこれからも人生の中で、一番最高の選択だったと思います。中学生まで僕はスポーツは好きでしたが何か一つのことを熱中するということはありませんでした。部活でも勝って嬉しいとか、負けて悔しいとかいう気持ちもありませんでした。そんな僕がこのラグビーというスポーツと出会い変わりました。ラグビーの練習のためならどんなことも犠牲にすることができました。勝つためならどんな辛いことでも耐えることができました。僕を変えてくれたスポーツに感謝しています。あと沼工ということも熱中できた一つだと思います。本当に最高の仲間、顧問の先生方に恵まれ、3年間走り回ることができました。もし僕が他校でラグビーをやっていたらやっぱり中学の頃のようになっていたと思います。沼工ラグビー部は僕を大きく変えてくれました。またそんな中で3年間やってこれたことを感謝します。これからも僕は沼工ラグビー部という大きな誇りを持ちながらラグビーを続けていきたいと思っています。

## キャプテンとして

沼津工業高校 山崎一洋

新チームになり早くも四ヶ月が経とうとしています。キャプテンになり始めは戸惑うことばかりでしたが、みんなの手助けや、前キャプテンからのアドバイスもあり、今は自信を持ってチームを引っ張ることができるようになりました。キャプテンの仕事はたくさんありますが、僕はチームみんなとのコミュニケーションを大切にしたいと思っていますので、プレーのアドバイスはよくします。仕事はたくさんありますが、みんなに信頼してもらえらるキャプテンを目標に頑張っていきたいと思っています。そして、もう一つの目標として全国大会出場。これは僕だけではなく、チーム全員が目標にしていることです。最後に笑えるためにも自分に厳しくして、目標を達成してみんなで笑いたいと思います。

## 編集後記

おかげさまでNPO静岡東部ラグビーコミュニティは、無事1年目の活動を終えようとしています。今後この通信紙も内容・発行回数ともに充実させてゆきたいと思っています。皆様からのご意見等お待ちしております。